

報告書名	平成 24(2012)年度 高温ガス炉プラントに関する研究報告書
発行年月	平成 25(2013)年 3 月
概要	高温ガス炉の実用化検討に資する目的で、以下を実施した。 (1) 有識者による講演・意見交換： 高温ガス炉プラントの実用化(実現性)を戦略的かつ多面的に検討するために、有識者 3 名による講演と意見交換を行った。 (2) 調査・研究・評価： ①内外動向調査(国際会議での情報収集、参加者との情報交換を通じた最新の海外動向の把握)、②高温ガス炉戦略の検討、③情報発信(定期講演会の実施、ニュースレター作成、ホームページの開設)を行った。
目次	はじめに 関係者名簿 I. 今年度の活動実績の概要 II. 有識者による講演 1. 「原子力政策をめぐる最新動向と研究開発」 2. 「米国における高温ガス炉の現状」 3. 「高温ガス炉の熱流動に関する安全性研究 — 配管破断事故時の挙動を中心に —」 III. 調査・研究・評価 1. 内外動向調査 (1) ASME/JSME/CNS 主催「第 20 回原子力工学国際会議(ICONE20)」出張報告 (2) JAEA 主催「第 6 回高温ガス炉技術国際(HTR2012)」出張報告 (3) Clean-Burn 高温ガス炉システムについて (4) 最新開発動向調査 2. 高温ガス炉戦略の検討 3. 情報発信 (1) 第7回定期講演会の実施 (2) ニュースレターの作成 (3) ホームページの作成 IV. まとめ